

校友会だより

第9号

令和7年12月15日発行
豊昭学園校友会

E-mail koyukai@hosho.ac.jp

豊昭学園100周年に向けて

校友会会長 田中将隆



“つばめ影さす 明るい窓に とどく朝風 希望の光…”

これは私が卒業した台東区立千束小学校の校歌で、童謡作曲家である中山晋平先生が同校の音楽教師として勤められていた頃に作曲したものです。先日、同校の創立120周年記念式典において、全校生徒が中山先生を師と讃えて数曲披露した姿は、大変感慨深いものがありました。

我が豊昭学園も令和10年には創立100周年、校友会は設立21周年を迎えることとなります。毎年7月に行われている校友会通常総会では、さまざまな演目や講演、ときには現役学生の演奏などを行ってまいりました。卒業生だけでなく、OBの先生方をはじめ功労者の方々にもご出席いただいております。またこれまで、八重桜や桑の木の植樹、垂れ幕の寄贈、豊昭祭への展示参加などに取り組んで参りましたが、今後も豊昭学園の発展とともに、校友会の活躍の場もさらに多くあるのではないかと期待しております。

私が在校生の頃、毎週のように創立者の亀川徳一先生の木曜訓話を聞いていた時代から、現在の教育は大きく変わりましたが、亀川先生の座右の銘である「質実剛健」は変わらぬ理念として、豊昭学園を支えて参る所存です。

ご挨拶

豊島学院高校校長 森 暁



この春より校長に就任いたしました森と申します。日頃より母校をご支援くださる校友会の皆さまに、心より感謝申し上げます。

本校は今年3月で卒業生総数が3万8千名を超えました。卒業生の活躍は、私たち教職員の誇りです。皆さまの歩みは、今の在校生にとっての希望の灯でもあります。

現在の豊島学院は「人間教育」を柱に、学力と人間力の両面を育む学校へと進化を続けています。進路指導では、着実な成果を上げています。生徒一人ひとりの希望に寄り添いながら、進路選択を支える体制が整っています。

学校行事も生徒主体で活気に満ちています。文化祭「豊昭祭」では、企画から運営までを生徒が担い、来場者からも高い評価をいただきました。誰もが主役になれる行事が充実しています。こうした日々の活動を通じて、生徒たちは「自分らしく輝ける場所」としての学校を実感しています。卒業生の皆さまにも、豊昭祭等へのご参加を通じて「また帰ってきたい」と感じていただけるはずです。

毎年7月に開催される校友会総会・懇親会は、世代を超えて母校と再会できる貴重な場です。来年も多くの皆さまにお目にかかることを楽しみにしております。母校は、卒業してもなお、皆さまの一部です。これからも母校と共に歩んでいただければ幸いです。

校友会の皆様へ

昭和鉄道高校校長 桑田達也



校友会の皆様には、益々御健勝のことと存じます。また、日頃より何かとご支援いただき、誠に有り難うございます。感謝申し上げます。

さて、昭和鉄道の2学期といえば、3年生の進路が大詰めを迎える時です。近年、鉄道企業への就職は好調でしたが、今年もその傾向が顕著で7割（就職希望者のうちでは8割）の生徒が鉄道企業より内定を頂いており、その範囲も北はJR北海道から南はJR九州まで全国に広がっています。3年生には卒業後、全国に「昭和鉄道高校」の名を広めて欲しいと思います。

また、今学期は豊昭祭や体育祭など多くの学校行事が開催されました。豊昭祭では2日間で8,000名近い来場者を迎え、今年も非常に活気あふれるものとなりました。生徒達が精一杯来場者をもてなす姿、笑顔で友人達と楽しそうに活動している姿を見て、こちらまでも心楽しく感じました。卒業生もたくさん来場し、元気そうな姿を見て安心しました。体育祭では赤・白・青・緑・黄の5団が競技に、応援演舞にとそれぞれ鎬を削り、とても充実したものとなりました。校友会から頂きました「優勝旗」は、今年度も「白団（B組）」に渡りました。

今後も多くの生徒が鉄道企業より内定を頂けるよう頑張っただけで、何卒、御協力の程お願い申し上げますとともに、校友会の益々の発展をお祈り申し上げます。

「絆」

理事長 中野 潤(保健体育科)



昭和58年1月、日本体育大学ラグビー部の合宿所に、豊昭学園から1本の電話が入った。これが、私と豊昭学園との運命的な出会いとなる。その内容は「3学期から始まる体育の授業（ラグビー）を担当できる学生をお願いしたい」というものだった。監督の指示により、私が担当することになり打ち合わせのために池袋へ向かう。放課後の時間帯だったためか、池袋駅周辺を堂々と歩く豊島実業（現豊島学院）の生徒たちと遭遇し「この子達にラグビーを教えたい!」と強く感じたことは今でも鮮明に覚えている。

大学卒業後は公務員として働くが、その2年後この時の思いが現実となった。以来、保健体育の教員兼ラグビー部のコーチとして、私の新たな人生がスタートする。豊昭学園ラグビー部の魅力は、対極的な個性を持つ部員たちが、一つのチームに存在することだ。どんな強い相手にもひるまず、自分のプレースタイルを貫こうとする豊島実業の部員達。そして、どんなに苦しい時でも自分の役割を最後まで果たそうとする昭和鉄道の部員達。この両極的な存在が互いを認め合い、信頼しあう事ができた年は、非常に強い絆で結ばれたチームとなる。まさに「ONE for ALL. ALL for ONE」という言葉を体現していたのです。昨今、「多様性」という言葉が使われ理解が求められているが、残念ながら争いが絶えない。私は豊昭学園のような「一つの生活、一つの仕事、一つの社会において、互いが信頼しあい、強い絆が生まれる」未来となることを心から期待してやまない。



校友会とは…

豊島学院・実業高校と昭和鉄道高校の卒業生、並びに教職員旧教職員で成り立つ組織です。詳しくは学校のホームページ (<http://www.hosho.ac.jp>) 「校友会」をご覧ください。

卒業生と学校、卒業生と卒業生をつなぐ輪、それが校友会です!

学園にユニフォーム贈呈



第18回通常総会で講演いただいたブラインドサッカー日本代表・泉健也選手(平成23年3月豊島学院卒)より、学校にパリ2024パラリンピック競技大会出場時のユニフォームが寄贈されました。校友会会員の活躍は嬉しいものです。泉選手は現在free bird mejirodaiチームに所属。試合会場に足を運んで応援しましょう!



豊昭祭に参加しました!

令和7年9月開催、第63回豊昭祭。今年も2日間、一教室を「校友会コーナー」として参加いたしました。



校友会会員の親交の場と同時に、あらゆる方により豊昭学園のことを知っていただく場でもあります。来校者すべての方に、休憩を取りながら学校の歴史にも触れていただきました。今回は展示写真を昨年に引き続きリニューアル&パワーアップ。

また、校友会会員の活躍を紹介する場も設けました。

懐かしの母校訪問ができる豊昭祭。どうぞ気軽にお立ち寄りください。懐かしいスナップ写真を交えて、一緒に思い出話をいたしましょう!



次回第64回豊昭祭でも皆様の来校来室をお待ちしております。

昭和鉄道高校 朝日新聞に連載

【朝日新聞 東京版 朝刊】連載「青春スクロール」にて、昭和鉄道高等学校について掲載されました。

- [1] 卒業後の人生、OBに聞く気づきや学び…2025年9月25日(木)18面
- [2] 将来の夢、在校生に聞く学びから膨らむ未来…2025年10月2日(木)16面
- [3] 学校生活、豊昭祭新名物駅弁と安全第一鉄道模擬運転…2025年10月9日(木)20面
- [4] 目指す姿、校長に聞く「協働力」を備え「命」を守る鉄道人の育成…2025年10月23日(木)20面

クラブ活動支援

昨シーズンのスキー部の活躍を垂れ幕でお祝いしました。毎年インターハイ、国民スポーツ大会に出場する活気のあるスキー部です。この冬の活躍も楽しみです。



第18回 豊昭学園校友会 通常総会・懇親会



僭越ながら、教育目標は「共に学び、共に助けあう」が良いと思います・石垣先生



令和7年7月5日(土)、総会・懇親会ともにホテルメトロポリタン(池袋)で執り行われました。ジャスト100名の出席。学園からも中野理事長を始め理事、両校長、現役の先生方、また14名の歴代の教員の皆様も出席くださいました。



総会では令和6年度の事業報告、会計報告、その他令和7年度活動案、予算案が承認されました。総会後は、ブラインドサッカー日本代表・泉健也選手(平成23年3月豊島学院卒)による講演。サッカー歴26年の泉選手は在校時はもちろんサッカー部所属。ゴールキーパーを務めることになったいきさつや進路についてのクラブ顧問や担任の先生の助言、大学でのブラインドサッカーとの出会いについて、ブラインドサッカー日本代表選手として日々の思いや知ってほしいこと、パリ2024パラリンピック競技大会の様子など、映像を交えてお話いただきました。はつらつとして誰もがわかっているようで知らない世界を丁寧に伝えていただき、身を乗り出すように聞き入ってしまう会場。自分の中でまたひとつ、世界が広がるような思いを受けたのではないのでしょうか。

懇親会は、初参加の方が16名も！令和卒業生も9名となりました。また北海道、栃木県など遠方よりはるばるご参加をありがとうございました。新旧取り混ぜ、懐かしい先生方とじっくり話し込まれたり、会員同士話がはずんだり、大いに盛り上がりしました。

校友会通常総会・懇親会は、毎年7月第1土曜日に開催されます。お一人でも、また皆様お誘い合わせでも、是非足をお運びくださいませ。



「山の会」に入り、春は新緑、秋は紅葉の山を歩いています・須田先生

原稿募集！

【郵便】

〒170-0011

東京都豊島区池袋本町

2-10-1

豊昭学園 校友会事務局

【メール】

koyukai@hoshio.ac.jp

懐かしく、楽しいひととき…
またお目にかかりましょう！



OB 高田明洋先生／牧野操先生／本村長盟先生／須田泰雄先生／石垣敏夫先生／板東功先生／図師透先生／梅木純一先生／後藤功光先生／菅野正人先生／飯山高志先生／梯達郎先生／村田茂先生／鈴木浩之先生

ご来場いただいた教員の皆様

現役 中野潤理事長／島根雄一理事／森暁学院校長／桑田達也鉄道校長／石井雅子学院教頭／松井浩鉄道教頭／本田有香先生／早川幸治先生／樋口昌明先生／星山竜也先生／秋山裕彦先生／小島学先生／松江真奈美先生／小林誠先生／羽部真悟先生

返信葉書通信欄より

月6回麻雀。早朝約1時間散歩。毎月『世界』（月刊誌）に目を通す／

山村登先生

健康上の理由で欠席／長谷川善範先生
水泳を週5日。マスターズ水泳大会毎年メダル!! この時期は健康的に電車外出みり。家でじっと夏眠／山口博先生

日課・散歩(4km～6kmを1時間)

目標・古代史研究会参加(2ヶ月に1回大宮まで)・読書(50年前に芳林堂で買った本を読む)・川越でうなぎを食べる・公園で遊ぶ／品川裕先生

近況は「年明けたと思っていたら梅雨の候」といったところ／杉山正勝先生

地域や趣味の集まりでの役員をやったり、夫婦で旅行に行ったりとセカンドライフを楽しく過ごしております。／山内雅昭先生
やりたかったことができる時間と体力を大切に使っています／大淵利一先生

計報：佐藤貞二先生・黒田博先生
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



妻・家族に感謝。家事伝いと地元・地域の方々と交流する日々・鈴木先生

